



LIXIL FamiLock 電池式 取付け説明書

- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。
- ハンドルの種類や商品によって、屋外リーダーやサムターンなどの形状が絵と異なる場合がありますが、手順・要領は同じです。(S型ハンドルの場合、屋外リーダーがハンドルに内蔵されています)

■取付け上のお願

- 次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。
 - ・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかる場所。
 - ・他の電波式機器から 2m 以内のところ。
 - ・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から 2m 以内のところ。
 - ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
 - ・本製品の使用環境温度範囲は -10°C ~ 50°C 、使用周囲湿度範囲は 20% ~ 90% RH です。温度が上昇する場所(直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど)や -10°C よりも温度が低くなる場所があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。
- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる可能性があります。



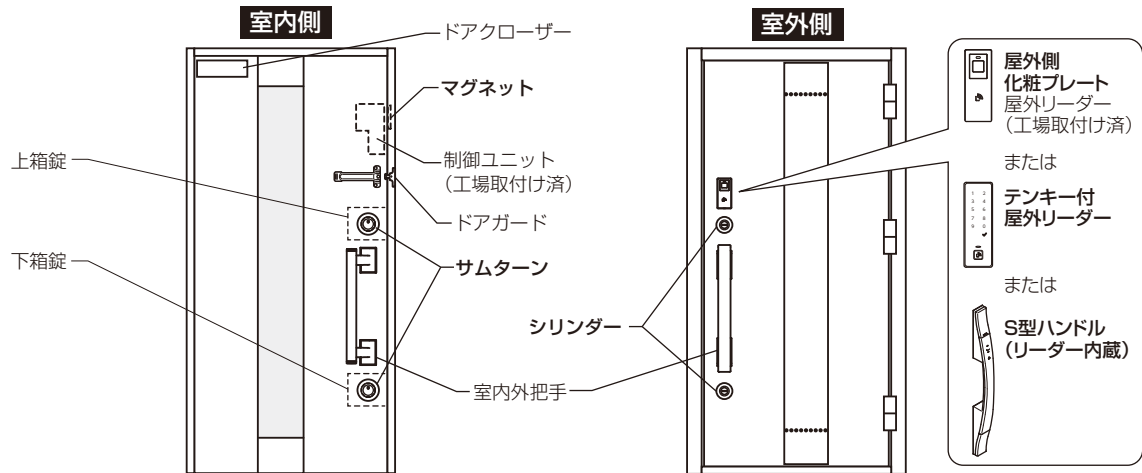
■梱包内容

●部品箱(エントリーセット)

	イラスト	ジエスタ2	グランデル2	リシェント玄関ドア3	
					XEモデル
カードキー3枚(クリアケース入り) または タグキー3コ	または	○	○	○	○
カードキー/タグキー選択によりいずれか同梱					
標準キー収納リモコン		○	○	○	○
リモコン入りセットの場合(1コまたは2コ)					
屋外側化粧プレート (S型ハンドルの場合、テンキー専用セットの場合 同梱されておりません)		○	○	○	○
取扱い説明書/お願いラベル かんたん設定ガイド		○	○	○	○
取付け説明書(本紙)		○	○	○	○
電池8本		○	○	○	○
サムターンセット (取付けねじ4本付)		—	○	—	○
電動サムターンセット					
サムターン本体 2コ	ツマミ 2コ				
カバー 2コ	金具 2コ	○	—	○	—
ドア厚40mmの場合: 皿小ねじM5×40 4本 ドア厚60mmの場合: 皿小ねじM5×60 4本					
マグネット (電動サムターン使用時)		○	—	○	—

※S型ハンドルやテンキー付屋外リーダー、ワイヤレス屋内ボタン、シリンダー、箱錠などは別の部品セットに同梱しています。

■取付け部品一覧



※商品の仕様によって本説明書に記載されている絵と異なる箇所がありますが、手順・要領は同じです。
(S型ハンドルの場合、屋外リーダーがハンドルに内蔵されています。)

■取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。

項目 No.	●ジエスタ2 ●リシェント玄関ドア3	●リシェント玄関ドア3 XEモデル ●グランデル2	
①	マグネットの取付け	マグネット(ストライク組込み) 「工場取付け済」	
※1	〔箱錠の取付け〕	電動箱錠「工場取付け済」	
②	電動サムターンの取付け	〔サムターンの取付け※1〕	
③ ※2	屋外側化粧プレートの取付け または S型ハンドルの取付け(※1,3)	〔サムターンの取付け※1〕	
	または テンキー付屋外リーダーの取付け(※1,3)		
④	電池を入れる		
⑤	電池を入れた後の作動確認		
⑥	建付けの確認と調整		
⑦	カードキー・タグキー・リモコンを使った作動確認		
※1	ワイヤレス屋内ボタンの取付け(※3)		

● []内は工場取付け済部品になります。 ● []内は手動と兼用の部品になります。

※1)取付け方法については各部品に付属の取付け説明書を参照ください。

※2)屋外リーダー(化粧プレート)、S型ハンドル、テンキー付屋外リーダーは、この内の1つを選択します。

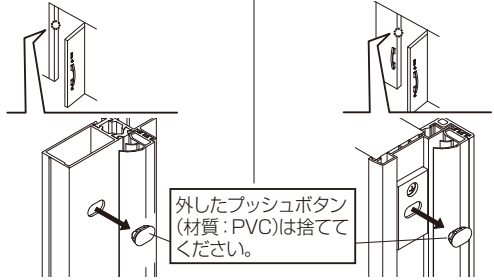
※3)商品によって選択できない場合があります。

①マグネットの取付け

①-1 プッシュボタンを外します。

片開き・袖付

親子・両開き



外したプッシュボタン
(材質:PVC)は捨てて
ください。

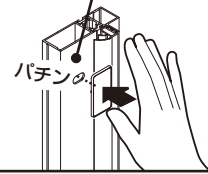
①-2 マグネットのリケイ紙
を剥がします。

リケイ紙の剥が
し忘れにご注意
ください。



①-3 マグネットを張付けます。

マグネット張付け面が汚れている場合
は掃除してください。汚れたまま張付
けると外れることがあります。



マグネットを3秒以上強く押付け、
圧着させてください。

※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。
※手動サムターンの場合はマグネットの取付けはありません。

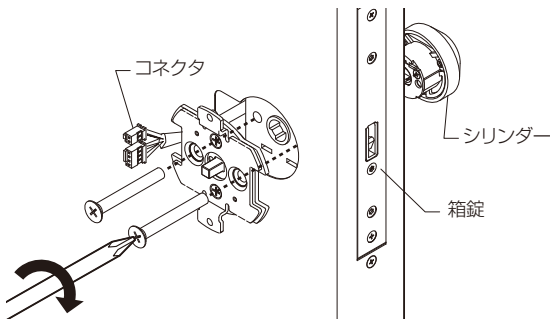
②電動サムターンの取付け

●サムターンは2個とも同じ部品で取付け方法も同じです。

※ねじの締付けトルク(推奨)：1.2N・m {12kgf・cm}

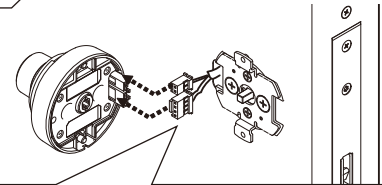
完成図

②-1 コネクタを引出してからシリンダー
と金具を皿小ねじで固定します。

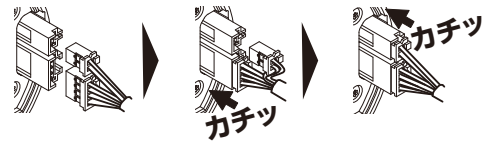


※箱錠は事前に取付けてください。
※ハーネスのはさみ込みにご注意ください。

②-2 コネクタを接続します。



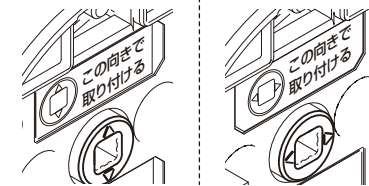
「カチッ」と鳴るまで挿してください。



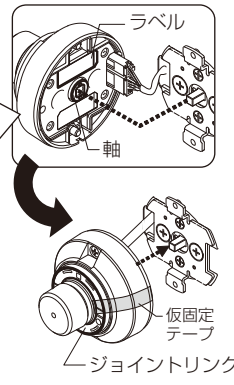
②-3 サムターン本体を金具にはめ込みます。(解錠状態で取付けること)

右吊[R]の場合

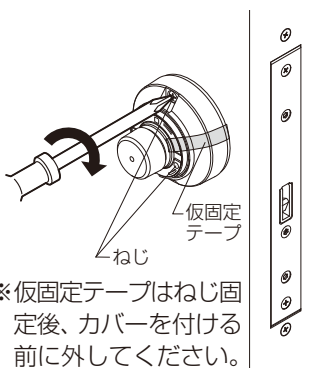
左吊[L]の場合



サムターンの軸をラベルの向きに合
わせてください。間違えるとサムター
ンが回りません。
合わせた後はジョイントリングを動か
さないでください。軸の向きが連動し
て変わります。

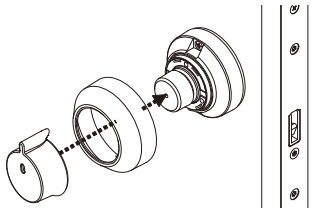


②-4 サムターン本体を
ねじで固定します。



※仮固定テープはねじ固
定後、カバーを付ける
前に外してください。

②-5 カバーをはめてからツマミを付けます。



●ツマミの外し方

ボタンを押しながら
引張ります。



取扱い上のお願い事項

本製品は精密機器です。構成部品に衝撃や強い力を加えないでください。
破損の原因になります。
破損防止のため、養生カバー(サムターンセットに同梱)を組立ててサム
ターンにかぶせ、施工中の養生用に活用ください。

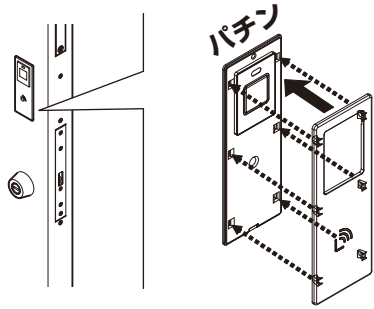


糊残りの無い養生テープ(別途)
で固定するとより確実です。

※手動サムターンの取付けはハンドルセットに付随する取付け説明書を参照ください。

③屋外側化粧プレートの取付け

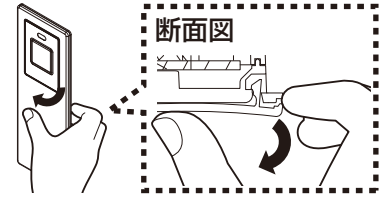
③ リーダーに屋外側化粧プレートを取付けます。



■メンテナンス時の対応

[化粧プレートの外し方]

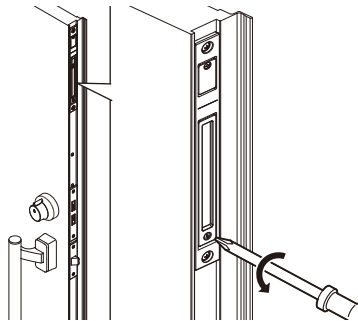
図のように中央を押しながら横から外してください。別の外し方をするとプレートが破損することがあります。



※S型ハンドルやテンキー付屋外リーダーの場合は取付け不要です。

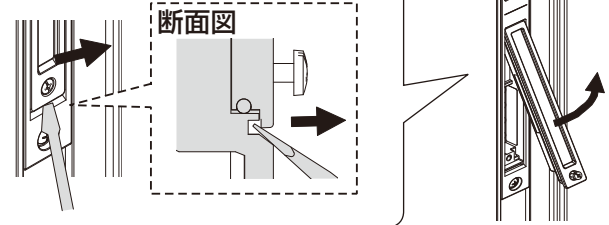
④電池を入れる

④-1 電池フタのねじを緩めます。

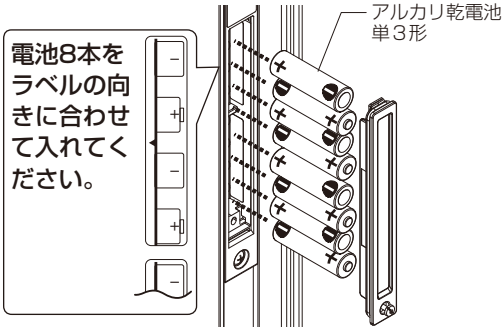


④-2 電池フタを外します。

フタが固い場合は、下図のようにマイナスドライバー等で外してください。



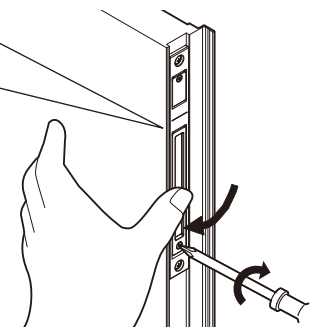
④-3 電池を入れます。



④-4 電池フタを閉めねじを締めます。

上部のツメをひっかけてから付けてください。

ねじはフタを押えながら締めてください


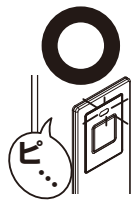



電池フタを閉めた後、ブザー音(ピ音)が鳴る場合は、以下の原因が考えられます。

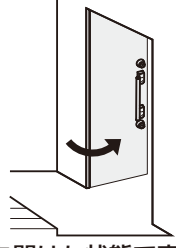

ブザー音	お知らせ内容
ピーピー×4 ●●●●×4	上サムターンのコネクタ接続が来ていません
ピーピー×4 ●●●●×4	下サムターンのコネクタ接続が来ていません
ピー----- *1 ●●●●	・電池の入れ間違い ・電池フタが半開きになっている

*1)ブザー音『ピー音』と共に電池切れ表示が点灯します。(詳しくは[7/8]をご確認ください)

⑤電池を入れた後の作動確認

操作	状態	結果
 <p>吊込む前や扉を開けた状態で(マグネットが感知していない状態)上下のサムターンをそれぞれ順番に手で施錠させます。</p>	<p>施錠した途端、「ピ音」が5回鳴り、LEDが橙色に点滅する場合</p> 	<p>正常にドアが開いている事とサムターンが手で回された事を感知しています。 ※確認後、引渡しまでは電池を抜いて利用ください。</p>
	<p>音が鳴らない場合</p> 	<p>異常です。下記の点検手順①を参考に確認を行いメンテナンスしてください。</p>

■点検手順①(上記手順で異常になった場合のみ点検を実施)

操作	状態	結果
 <p>扉を開けた状態で実施</p> <p>リーダーのボタンを押す。(扉を開けた状態で実施してください。)</p>	 <p>LEDが橙色に点滅し、ピ音が5回鳴る。</p>	<p>サムターンのコネクタが正しく接続できていません。</p>
	<p>何にも起こらない。</p>	<p>電池が正しく入れられていません。</p>

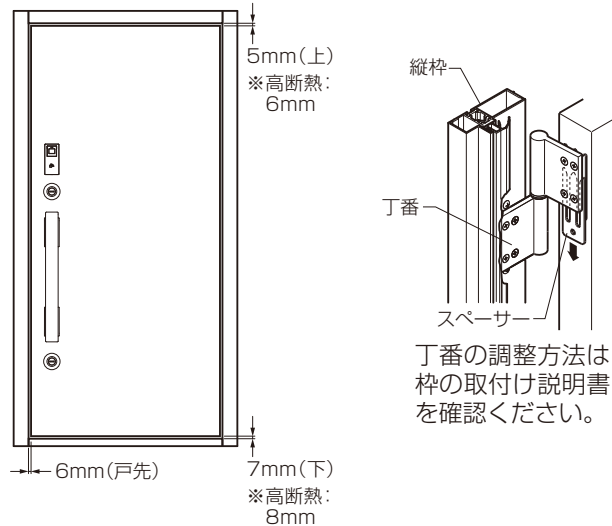
※本確認が終わりましたら工事期間中(工事用キー使用中)は、電池を抜いてご利用ください。自動施錠など、予期しない作動から、閉め出しにあうおそれがあります。

⑥建付けの確認と調整

⑥-1 枠とドア本体の建付け確認

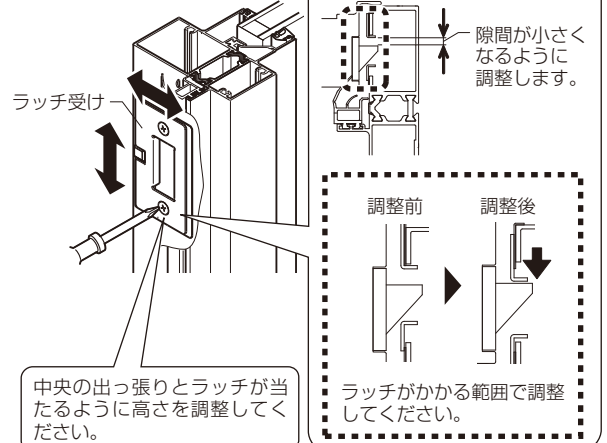
- 上下、戸先側のチリ寸法と気密材とドアの当たりが均等に当たるように確認、調整してください。

■チリ寸法



⑥-2 ラッチの確認と調整

- ラッチ調整の前にドアクローザーの速度を適切に調整してドアが最後まで閉まるようにしてください。うまく閉まらない場合は、丁番もしくは子扉のフランス落としの調整を行ってください。そしてラッチがかからない場合、もしくはラッチがかかってもガタつきが大きい場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。



⑥-3 ストライクの確認

- ラッチがかかった状態でドアを押し引きしながらサムターンを回し、カギがスムーズにかかるかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの位置を調整してください。

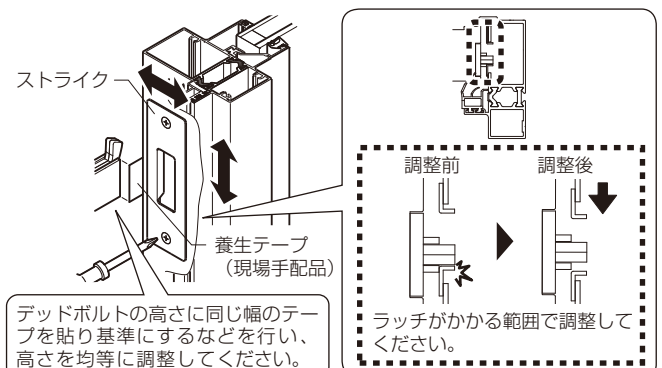
【確認方法】

扉を押しながら
(把手は押さない)

把手を引きながら



室内側

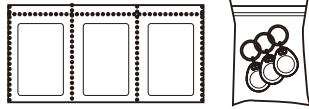


⑦カードキー・タグキー・リモコンを使った作動確認

室外側

⑦-1 同梱のカードキー3枚またはタグキー3個は未登録です。(以下、「タグキー」は省略)

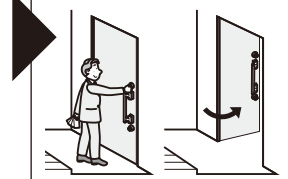
●カードキー・タグキーの場合
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。



●リモコンの場合
リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。
※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。

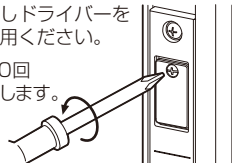


解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。

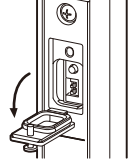


⑦-2 フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。
約10回まわします。



フタを外します。



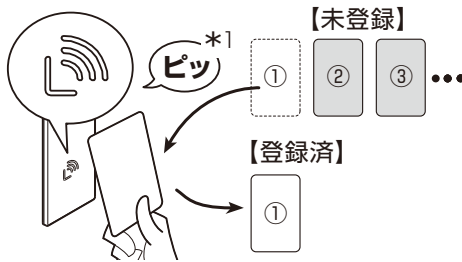
登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。



⑦-3 カードキーとリモコンを登録します。(続けて登録可能です。)

●カードキーの場合

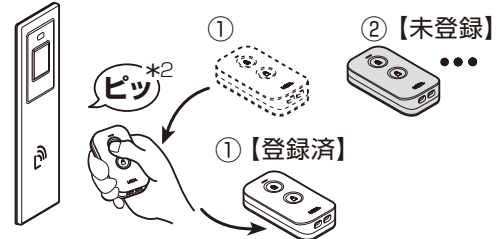
1枚ずつカードキーをWi-Fiマークにかざし登録します。



*1) 登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例: 1枚目『ピッ』、2枚目『ピッ、ピッ』)
※最大登録枚数は10枚です。
※S型ハンドルの場合、Wi-Fiマークはハンドルに付いています。

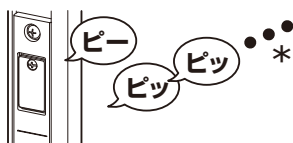
●リモコンの場合

1個ずつリモコンのボタンを押し、登録します。



*2) 登録の都度、登録済み個数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例: 1個目『ピッ』、2個目『ピッ、ピッ』)
※最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
※1つのリモコンに最大10台のドアを登録できます。
11台目のドアを登録すると、リモコンからは1台目のドアの登録情報が自動的に削除されます。

⑦-4 約30秒待つと登録モードが終了し『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*3



*3) 登録済みのスマートフォンを含めた、カードキーとリモコンの合計登録個数分鳴ります。

⑦-5 フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。



⑦-6 外に出てカードキー、リモコンを使って施解錠の確認を行ってください。

●カードキーの場合

タッチボタンを押し、カードキーを「Wi-Fi」マークにかざします。



●リモコンの場合



2つのカギが施解錠することを確認します。



※エラー音、エラー表示が点く場合は、[7/8]を参考に対処してください。

●お願い
※電気錠操作では上下2ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになりますので、別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。閉め出しのおそれがあります。
※工事中は連動施錠機能をONにしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。

■商品仕様

■ドア側(電池式)

入力電源仕様	DC6V アルカリ乾電池 単3形 8本(4本の直列接続を2並列で接続)
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz / 13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m / 112dB μ V/m(参考値)
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃(電池を除く)
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	

■リモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池 CR2032 2個
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz
電界強度	85dB μ V/m(参考)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃

■カードキー

使用環境温度範囲	-10~50℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	-20~60℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

■屋内ボタン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池 CR2032 1個
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz
電界強度	85dB μ V/m(参考)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。